

SureServer PrimeとSureServerの違いについて



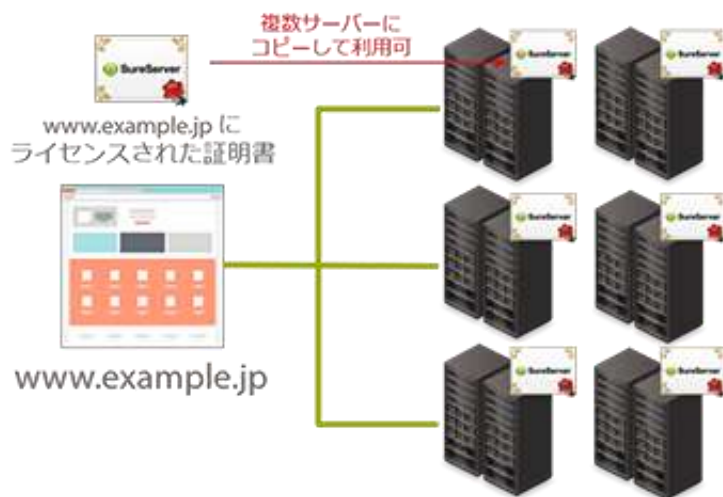
サイバートラスト株式会社
カスタマーサービス部
2021年9月

ライセンスの考え方

従来のSureServerシリーズは1つのFQDNにつき、SSL / TLS 通信を行いたい物理的サーバーや仮想サーバーの台数の枚数が必要になる「**サーバーライセンス**」です。

SureServer Primeシリーズはサーバー台数に関係なく、1枚のサーバー証明書で利用できる「**FQDNライセンス**」になり、Amazon EC2、Microsoft Azureなどのクラウドサービスやプライベートクラウドなどでの利用に最適です。また、従来のSureServerシリーズではサーバー台数分の証明書を申請する必要がありましたが、複数台のサーバーにコピーして利用可能なため、申請回数も1枚分のみになるので作業負担の軽減にもつながります。

SureServer Primeシリーズ



FQDNライセンスでは、「www.example.jp」が何台のサーバーで構成されていてもコピーして利用可能

SureServerシリーズ



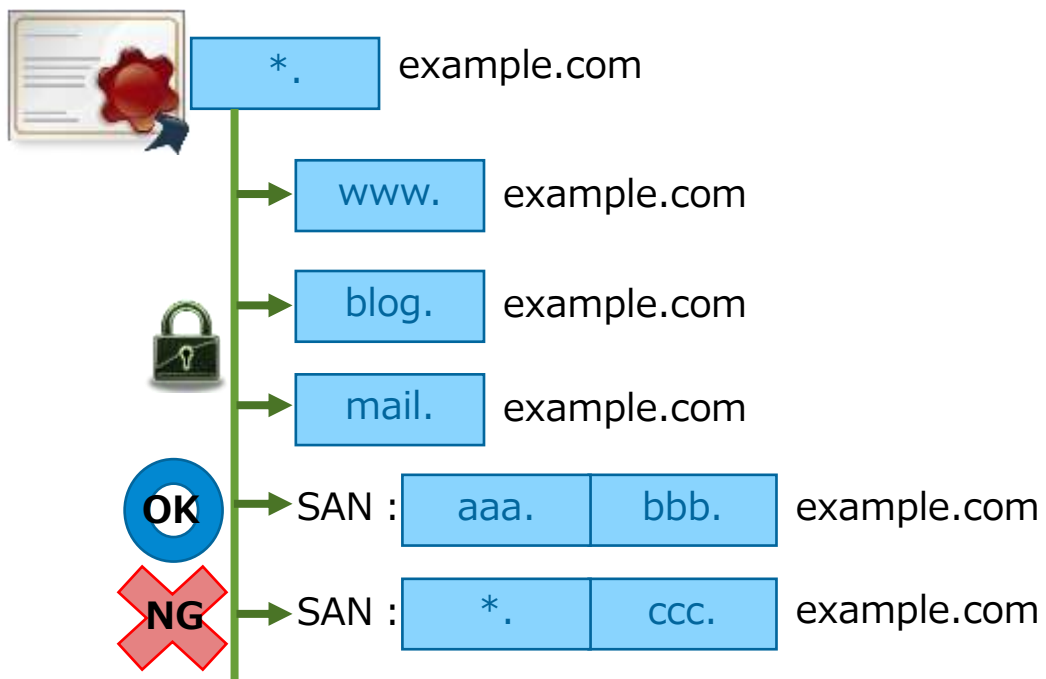
「www.example.jp」が3台のサーバーで構成されている場合、**サーバーライセンス**では、各サーバーにライセンスが必要

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、コモンネーム (CN) のサブドメインに「* (アスタリスク)」を使用することで、1枚の証明書で同一ドメインに属する複数のサブドメインを保護することができる証明書です。

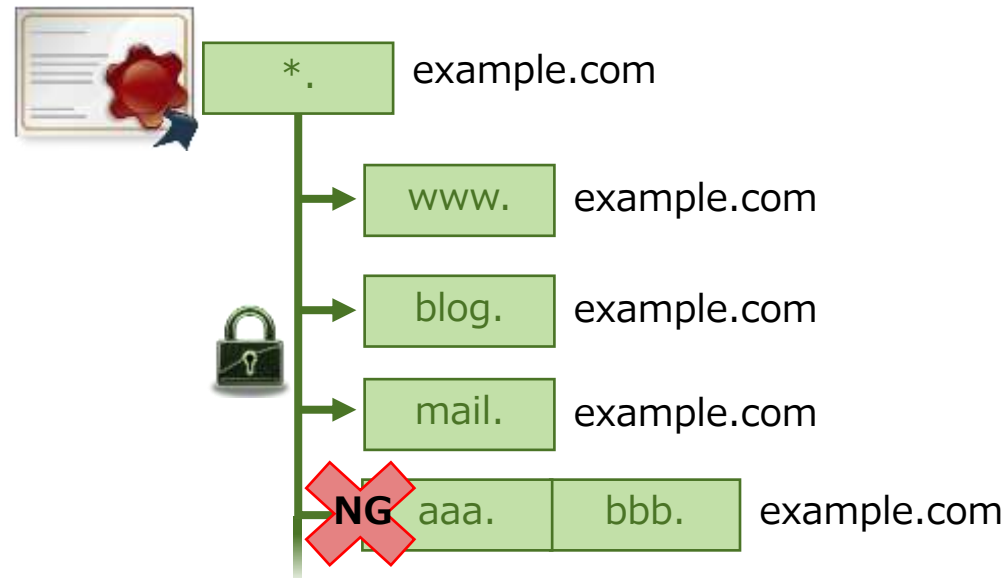
SureServer ワイルドカードでは「* (アスタリスク)」の階層が同じFQDNのみに適用可能でしたが、SureServer Prime ワイルドカードは、コモンネームと同一ドメインであれば、Subject Alternative Names (SAN) を使用して、コモンネームと異なる階層の FQDN を追加費用なしで登録することができます。

SureServer Primeワイルドカード



- ※SANの値に「*」を含むFQDNは登録できません。サブドメインを含むFQDNを登録してください。
- ※ SANの値に登録できるFQDNの階層制限はありません。
- ※149個までのFQDNを登録できます。

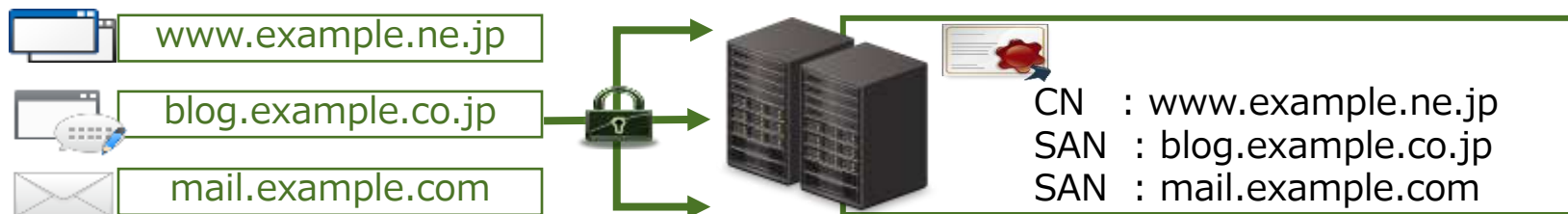
SureServerワイルドカード



※CNと階層が異なるFQDNはカバーできません。

マルチドメイン証明書

マルチドメイン証明書は、コモンネーム (CN) のほかに、Subject Alternative Name (SAN) へ保護するFQDNを追加することで、所有する複数のサイトを1枚の証明書で保護することができる証明書です。



SureServer EV Prime MD/SureServer Prime MD

◆追加可能なSANの数

149個

◆費用

2FQDNまで：基本料金(1 CN + 1 SAN)

3FQDN以上：基本料金(1 CN + 1 SAN) + 【追加SAN (Long) × 必要数】

※初回申請時に3FQDN以上で申請する場合、基本料金に追加SAN (Long) を1つ以上必要な数量分組み合わせていただきます

◆有効期間の途中でSANを追加したときの費用

再発行元の証明書の残存期間に応じて追加SAN (Long) または追加SAN (Short) の価格が適用されます

◆有効期間の途中でSANを追加/削除する方法

再発行申請 (再発行ボタンから申請)

◆有効期間の途中でSANを追加/削除した場合の元の証明書

SANの追加のみであれば失効されません

SANの削除や変更、証明書情報の変更が伴う場合は失効されます

SureServer EV MD/SureServer MD

◆追加可能なSANの数

60個

◆費用

SureServer EV/SureServer1枚の価格 × 合計のFQDN数

※合計のFQDN数：1 CN + 追加SANの数

◆有効期間の途中でSANを追加したときの費用

残存期間に応じて按分

◆有効期間の途中でSANを追加/削除する方法

新規申請 + 失効申請

◆有効期間の途中でSANを追加/削除した場合の元の証明書

失効されます

再発行は、証明書の発行日から経過した日数と再発行理由によって手続き方法や費用が異なります。

《共通の考え方》

- ①発行から30日以内・・・理由問わず**無償**での再発行
- ②発行から31日以上経過で秘密鍵の紛失など証明書情報に変更が**ない**・・・**無償**での再発行
- ③発行から31日以上経過で組織名（O）等、証明書情報に変更が**ある**・・・**有償**での再発行

SureServer Primeシリーズ

◆再発行方法

上記①～③のすべてのパターンで「再発行」ボタンから申請

◆再発行元証明書の失効

証明書記載情報に変更がない場合は失効されません
（異なる環境に証明書を適用する場合、再発行することで再発行元/
再発行後の証明書を使用することができます）

※SureServer EV Prime MD/SureServer Prime MD/ SureServer Prime ワイルドカードで、SANの削除や変更を行った場合、再発行元の証明書は失効されます

◆再発行費用（上記③の場合）

16,800円（税別）

SureServerシリーズ

◆再発行方法

上記①②・・・「再発行」ボタンから申請
上記③・・・「新規申請」＋「失効申請」

◆再発行元証明書の失効

再発行元の証明書は理由問わず失効されます

◆再発行費用（上記③の場合）

別途お見積いたしますので下記までお問い合わせください

SSL/TLS サーバー証明書 専用お問い合わせフォーム
<https://www.cybertrust.co.jp/contact/ssl.html>

「SureServer Prime」と「SureServer」の比較表



	SureServer Prime	SureServer
証明書の期間	1年	6カ月（EV除く）、1年
ライセンス	FQDNライセンスのみ	サーバーライセンスとFQDNライセンス（for クラウド）
EVサーバー証明書	あり	あり
ワールドカード証明書	あり	あり
ワイルドカードのサブドメイン対応 ※1枚のワイルドカード証明書による階層違いのサブドメインへの対応	あり	なし
マルチドメイン証明書	あり	あり
SANの追加／削除	あり 「再発行申請」で可能 ※発行済みのマルチドメイン証明書にSANを追加する場合、SureServer Primeでは、追加前の証明書を失効しません	あり 「新規申請＋失効申請」で可能 ※発行済みのマルチドメイン証明書にSANを追加する場合、SureServerでは、追加前の証明書を失効します
無償再発行	あり（制限あり：基本30日以内） ※発行から31日以降に証明書情報の変更が伴う再発行を行う場合は有償となります	あり（制限あり：基本30日以内） ※発行から31日以降に証明書情報の変更が伴う再発行を行う場合は有償となります
wwwオプション	あり	あり
審査基準		同じ
中間CA、ルートCA		同じ
暗号強度		同じ
PC・モバイルカバレッジ		同じ
Trusted Webシール		同じ

製品ラインアップ

SureServer Primeシリーズ	認証レベル	有効期間	定価 (税別)
SureServer EV Prime	EV ★★★	1年	79,200円
SureServer Prime	OV ★★	1年	52,800円
SureServer EV Prime マルチドメイン (1 CN + 1 SAN)	EV ★★★	1年	93,600円
追加SAN (1 FQDNあたり)		Short	25,200円
		Long	50,400円
SureServer Prime マルチドメイン (1 CN + 1 SAN)	OV ★★	1年	72,000円
追加SAN (1 FQDNあたり)		Short	16,800円
		Long	33,600円
SureServer Prime ワイルドカード	OV ★★	1年	120,000円

SureServerシリーズ	認証レベル	有効期間	定価 (税別)
SureServer EV	EV ★★★	1年	150,000円
SureServer	OV ★★	6ヶ月	50,000円
		1年	75,000円
SureServer ワイルドカード	OV ★★	1年	195,000円



信頼とともに

留意事項

本資料に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。
その他本資料に記載されているイラスト・ロゴ・写真・動画・ソフトウェア等は、当社または第三者が有する知的財産権やその他の権利により守られております。
お客様は、当社が著作権を有するコンテンツについて、特に定めた場合を除き、複製、改変、頒布などを行うことはできません。
本資料に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。また、時間の経過などにより記載内容が不正確となる場合がありますが、当社は、当該情報を更新する義務を負うものではありません。